

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 17日

事業所名 ぼくらカンパニー

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		部屋の構造上、部屋が小分けになっており、お子さまたちそれぞれの特性や用途に合わせ、分けて支援の提供を行っています。	
	2 職員の配置数は適切である	○		人員が適切になるように、利用者数を日頃から調整したりしている。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	段差のある箇所があるが、安全に過ごせるよう視覚的に工夫をしております。	建物の構造上、全てフラットな状態に出来ない。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日、ミーティングを行い、目標や課題、振り返り等、職員全員が共通理解のもと支援に取り組むようにしています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケートの結果は職員全員で、意向等把握した上で業務改善へつなげています。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		当事業所のホームページに掲載しています	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	外部評価ではありませんが基幹相談支援センターや各相談支援事業所、学校等に常に連携を取りながら支援につなげています。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修等に参加できる限り積極的に参加するようにしています。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者の意見や要望を丁寧に聞き取りをした上でお子さまやおさまを取り巻く環境を考慮し、必要な課題や支援を取り入れた計画書を作成しています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		お子さまにもありますが、できる限り標準化されたアセスメントツールを反映させた支援を行うよう心がけています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		お子さまの特性を考慮した上で特性に合わせたプログラムをチームで行っています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		プログラムは子どもの成長に合わせ変化をしながら取り入れてます。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		平日は、安心して学校へ通えることを考慮しルーティン化した内容にし、長期休暇や休日は長時間になるので細かくスケジュールを決め、課題や目標が達成できるようなメリハリのある内容にしています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		状況に合わせ、日々、個別活動、集団活動を取り入れた活動内容を行い、放課後等デイサービス計画を作成しています	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援開始前に職員でミーティングを行い、役割分担や子ども一人ひとりの状態を確認しています。	役割分担をしているが、児童との相性で一人に負担がかかる場合がある。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後は送迎等で忙しいので、業務の開始前のミーティングにて共有している。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の記録を担当したスタッフが必ず記入している。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し等行っています。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		事業所内や事業所外で様々な活動を組み合わせ合わせて支援を行っています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		職員の意見を取りまとめ、管理者・自発管が会議に出席し、報告や情報共有をしています	できる限り担当のスタッフも同行して、説明出来たらよいと思う。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校や保護者と連携を取りながら連絡調整を行っています。下校時間の確認は主に学校から配布された時間割で確認させて頂いております。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在、医療的ケアの必要な方の利用がない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		障がい児相談支援事業所や保護者から聞き取りを行い、情報共有をした上で支援を行います。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		相談支援事業所を通して、これまでの支援の内容や本人の特性などの情報を提供させて頂いております。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		発達支援センターやコーディネーター、専門医、臨床心理士などの助言を仰いだり、研修を受け日々支援の向上に努めています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		この項目については、望まない保護者、本児が多くあてて設けていないが、学生ボランティアなどの受け入れを行い、交流する機会はある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		こどもネットワークに参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		かなり、こまめにお子さまの様子を時には写真等を使い保護者にお伝えしています。発達の状況や課題は共通理解をしています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		保護者がお子さまとの関わりで、不安を感じたり、迷ったり、悩み事があった場合、すぐに相談にのり、ご家族さまに対する支援を行っています。		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に丁寧に説明をさせて頂いています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者からの子育ての悩み等に対する相談はその都度行い、保護者の気持ちに寄り添いながら、共に考え必要な助言を送るよう心がけています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			以前は定期的な「ママカフェ」を行い、保護者同士の交流の場を設けていましたがコロナ禍により、現在、開催することが出来ていない状況です。コロナが収束し、落ち着いた状況になればまた、開催したいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情についてはすぐに対応し、迅速かつ適切に対応させて頂いています	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		定期的に会報誌を発行、配布し、活動概要やご様子などお知らせしています。	
	35	個人情報に十分注意している	○		保護者に個人情報についての同意書を頂いています。職員には徹底して個人情報を守るよう注意を促しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		障がいのある子どもとの意思疎通は、どのような形が一番ベストか職員全員で理解し、職員と子どもが良い形でコミュニケーションが取れるよう工夫をしている、保護者に障がいがある場合、各関係機関の協力のもと情報が上手く伝わるように配慮しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	○		地域の方々に当事業所のことをよく理解して頂く努力をしています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		保護者には契約時に全て説明をさせて頂いております。職員にはミーティング等で周知を行っています。	契約時に説明を行っていませんが、書面をお渡ししたりして、周知徹底を図りたいと思います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		避難訓練は年に2回以上行っています。	避難訓練の様子などを開催時にはお知らせしたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待を防止するため職員は研修を受け、ミーティングでも虐待についてのマニュアルを確認しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		身体拘束については、契約時に保護者に説明しています。了解を得た上で契約書に記載させて頂いています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		医師からの直接の指示はありませんが、保護者から情報を得て、食べ物を与える際に十分に配慮している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットはその都度作成し、ミーティング時に職員全員に伝え情報を共有しています。	すぐ書き込めるような環境・意識をさらに深めたい。